

新しい一人会派 「対話で行こう！東村山」を 議会基本条例の改正により結成しました！

▶9月議会最終日（10月3日）に可決した議会基本条例の改正を踏まえ、私は一人会派「対話で行こう！東村山」を11月7日付で結成しました。略称は「対話！」です。これまでこの4年間は会派と認められなかった5人の議員は、それぞれに一人会派となりました。

▶議員同士の白熱の議論は議会HPの動画記録からご覧いただけますが、改めて、議会での発言は永久に残りますので、その場しのぎの発言をしたり、自分の過去の発言を忘れたかのような無責任な発言をすることが、いかに議会内外の信頼を失墜させるのかということを、自戒も込めて肝に銘じた2時間40分の議論でした。

▶また、議長経験者の議員から私に対して



「佐藤議員は現在は市議会の副議長として、議会運営全般を議長と補佐して、しっかりと見守り進める立場にあると思って考えています。加えて過去には議会運営委員会や代表者会議で一緒にさせていただいたこともありますけれども、（中略）今回の改正案の提案者になっていることについて説明をお願いします。」と質疑がありましたので、私はこう答えました。「おっしゃるように議長を補佐して議会運営に当たっているわけですけれども、副議長が提案者になっていけないという理由は何もないと思います。そして、この件についてもう少し申し述べれば、私はこの事態はこれ以上副議長として看過できないという判断からこちら側に座っています」。

▶名称を「国政政党名に限る」と今夏の議会運営委員会で突然言い出したのも同じ議員ですが、私たち議員は市民の権利や義務に関わるルールを議論して決定する立場ですので、その発言には責任が伴うと共に、法律や条例、過去の会議録等、何らかの根拠を踏まえることが当然求められます。

佐藤 まさたか 市政レポート

第112号

2025年11月15日発行

【発行】ちゃんと変えよう！東村山

▶会派の名称は、各自が自分の所属する政党や団体の名称、大切にする政治姿勢等をもとに名付けました。私は東京都選管に届け出ている政治団体「ちゃんと変えよう！東村山」も考えましたが、今回の議論の経過を踏まえると共に、私が今、最も大事なことと考え、私自身の課題であるとも考えている思いを言語化し、名称としました。残り任期1年半はこれで行きますので、どうぞお見知り置きください。この日の白熱の様子は、市議会HPの録画からご覧いただけますし、私は文字起こしをブログにアップしてあります。



当日の様子を報じた
「はなこタイムス」の記事

「議会から地方を変え、地方から国を変える」 ～北川正恭先生の最終講義に寄せて～ 今年も全国地方議会サミット2025に運営委員として参加

▶マニフェスト大賞で初めて優秀コミュニケーション・ネット選挙戦略賞をいただいた2015年(第10回)のプレゼン大会後に「君は伝え方がうまいな」と笑顔で声を掛けてくださった北川先生。

ん？中身を褒められているのではないみたいだな…と思ったけれど、よし、もっと頑張ろうと決意したことを思い出します。

▶翌年の第11回、視覚障害者の方たちと共に秋津駅～新秋津駅間を当事者が自力移動できる凹凸付白線を実現できた件で、議員による政策提言部門の最優秀賞をいただきました。

ローカル・マニフェスト(LM)推進連盟とマ

ニフェスト大賞は、22年前に議会内では一人ぼっちでスタートした私に、たくさんの得難い経験と、北海道から沖縄まで旧友のように互いの頑張りを応援し合える同志を与えてくれました。

▶マニフェスト運動を提唱され、「議会から地方を変え、地方から国を変えよう」といつも明るく強く語り、私たちを励まし続けてくださった北川先生に、最終講義後に心よりの感謝を申し上げました。

また、今回の会場の法政大学薩摩ホールは、前・法政大学総長の廣瀬克哉先生が2007年の統一地方選挙に向けて提唱された

「変えなきや議会」の運動に呼応して最初に参加した勉強会の地であり、「市民と議員の条例づくり交流会議」の舞台として毎年お世話になった場所でした。

▶長年切磋琢磨してきた全国の地方議員仲間、首長、公務員や研究者の皆さんに久しぶりにリアルでお会いし、語り、学び、飲み交わし…本当に幸せな2日間。最後は北川先生から渾身の喝を受け、明日からも自分を磨き、前を向いて頑張ろうと思えました。



最終講義をエネルギー・サミットに終えた北川先生とガッチャリ握手

